

新財政健全化計画

～持続可能で強固な財政基盤の確立をめざして～

平成19年3月
名古屋市

目 次

はじめに	1
1 「財政健全化計画」での取り組み	2
2 今後の収支見通しと課題	6
(1) 今後の収支見通し	6
(2) 今後の見込みと課題	8
① 歳入	
② 歳出	
(3) 新たな財政健全化計画の必要性	15
3 財政の望ましい姿	16
4 目標と計画期間	17
(1) 目標	17
(2) 計画期間	17
5 具体的な方策	18
(1) 歳入の確保	18
① 市税などの徴収率向上	
② 税財源の拡充強化等	
③ 保有資産の有効活用	
④ 公平な負担の推進	
(2) 歳出の見直し	22
① 行政評価制度の活用などによる事務事業の見直し	
② 公の施設のあり方研究会の意見などを踏まえた施設の見直し	
③ アセットマネジメントシステムによる施設の計画的管理	
④ P F I ・ E S C O などによる民間活力の積極的な活用	
⑤ 計画的な定員管理と給与などの抑制	
⑥ 公営企業会計など他会計への財政支出の抑制	
⑦ 外郭団体の効率的な運営	
(3) 資産と債務の適正な管理	28
① 新たな公会計制度の導入	
② 特例的な市債・財源対策としての市債の発行抑制	
③ 効率的な資金調達	
(4) 財政に関する情報の提供と市民ニーズの把握による計画の推進	29
6 数値目標と計画実施後の収支	30
(1) 数値目標	30
(2) 計画実施後の収支試算	31
資料 新財政健全化計画（案）に対する市民意見の内容及び市の考え方	32

本計画中の数値や記述は、特に断りのない限り、一般会計にかかるものです。